



掲示板に張られた受験番号を確認し、合格を喜ぶ受験生たち(木曾青峰高校)

青峰、蘇南 115人に喜びの春

県内公立高校の後期
選抜試験(一般入試)
の合格発表が16日行われ、木曾郡内では、木曾青峰の全日制79人(定時制は志願者なし)、蘇南の36人に喜びの春が訪れた。

木曾青峰高校の昇降口に合格者の受験番号が張り出されると、30人ほどの受験生から「やった」と歓声が上がった。友人や保護者と合格を喜んだり、スマートフォンで記念撮影したりしていた。涙を流して保護者と抱き合う姿もあった。

木曾青峰高校の昇降口に合格者の受験番号が張り出されると、30人ほどの受験生から「やった」と歓声が上がった。友人や保護者と合格を喜んだり、スマートフォンで記念撮影したりしていた。涙を流して保護者と抱き合う姿もあった。

ともに木曾町中学校出身で、理数科に合格した田中千穂美さん(15)は「運動系の部活と勉強を両立したい」と笑顔で話していた。森林環境科に進む小川翼君(15)は「相撲部に入る。3年間しっかり練習して『日本一』になりたい」と力を込めていた。

ともに木曾町中学校出身で、理数科に合格した田中千穂美さん(15)は「運動系の部活と勉強を両立したい」と笑顔で話していた。森林環境科に進む小川翼君(15)は「相撲部に入る。3年間しっかり練習して『日本一』になりたい」と力を込めていた。

ともに木曾町中学校出身で、理数科に合格した田中千穂美さん(15)は「運動系の部活と勉強を両立したい」と笑顔で話していた。森林環境科に進む小川翼君(15)は「相撲部に入る。3年間しっかり練習して『日本一』になりたい」と力を込めていた。

【関連記事5面に】

(向山 均)